

本件は警察庁からも同時発表しています。本ニュースリリースは、国土交通記者会で配布しております。

本部MA2023-047

2024年2月16日

一般道路の後席シートベルト着用率は43.7% 今なお低い、後席シートベルト着用の意識

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は2023年10月10日（火）から11月10日（金）※¹までの間、警察庁と合同で「シートベルト着用状況全国調査」を実施し、その結果を2月16日（金）に公表しました。

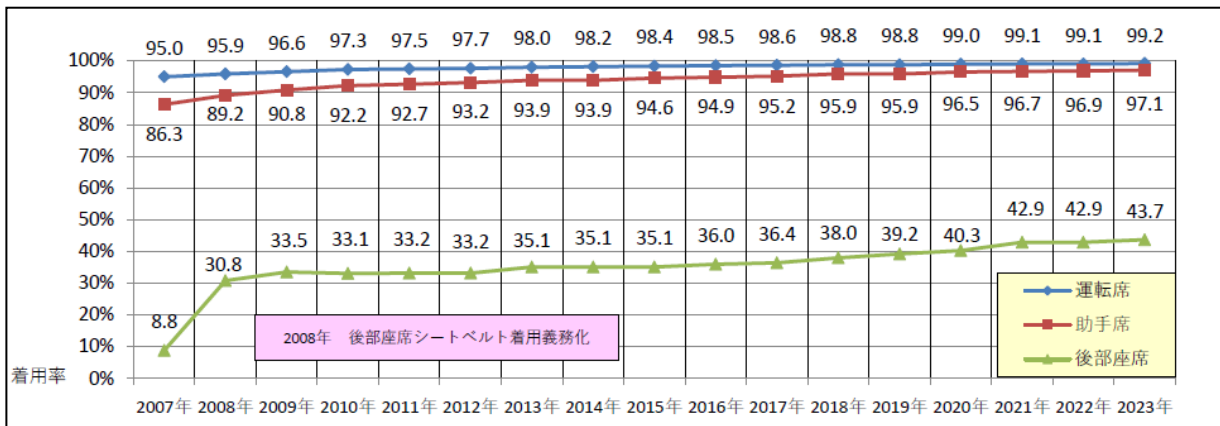
※1 調査データに不備があったため、12月に再調査を一部実施

全国885箇所調査したところ、後部座席（以下、後席）でのシートベルト着用率は、一般道路で43.7%（前年比0.8ポイント増）。高速道路で78.7%（前年比0.7ポイント増）となり、一般道路・高速道路等の両後席において、2002年の合同調査開始以来、過去最高となりました。

一方で、運転席の着用率は一般道路で99.2%（前年比0.1ポイント増）、高速道路等で99.6%（前年同値）、助手席においてもそれぞれ95%を超える結果となりました。

2008年に後席でのシートベルト着用が義務化※²されてから10年以上たちましたが、依然として後席は前の座席と比べて着用率が低い状態で推移しています。その中でも、一般道路で着用率の低さが際立ち、改めて後席でのシートベルト着用の重要性が十分に浸透されていないことを示す結果となりました。

■一般道路における着用率の推移



JAFでは乗員の安全を確保するため、後部座席同乗者にも自発的にシートベルトを着用するよう、全席シートベルトの着用、並びにチャイルドシートの使用について、今後もさまざまな啓発活動を続けてまいります。

※2 道路交通法では、全ての座席でシートベルト着用が義務付けられています。なお、高速道路（高速自動車国道又は自動車専用道路）での違反は、行政処分の基礎点数1点が付されます。

■添付資料：シートベルト着用状況全国調査結果2023年

<https://jaf.or.jp/-/media/1/2590/2610/2639/2653/sb2023.pdf>

■参考ページ：いのちをつなぐ一本がある 後席シートベルトの安心力

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/protect-life/rearseat>

■ユーザーテスト：後席シートベルト非着用の危険性

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/rear-seatbelt/do-not-use>

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@jaf.or.jp URL : https://jaf.or.jp/
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館